



# SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



鹿追町立鹿追中学校  
IBCO 奥平 和也  
2026.2.6 Vol.43

## IB の学びと「知識」の関係

本日は入学説明会がありました。生徒会生徒からの IB の学びについての説明があった他、12月の懇談会でも今回の入学説明会でも教務部からは「家庭学習の習慣化の重要性」、生徒指導部から「生活習慣の重要性」についてのお話がありました。

IB の学びについての説明は過去号でも説明してきていますので、本号では「IB の学びと家庭学習・生活習慣との関係」について、私の方からも少し補足させていただきたいと思います。





[https://drive.google.com/drive/folders/1Ddw\\_q54sH9QFWGq1mmt-ivTpSM\\_ho9M?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1Ddw_q54sH9QFWGq1mmt-ivTpSM_ho9M?usp=sharing)

↑こちらはとある1日の各教科授業のうち、生徒が「知識技能の定着」に励んでいた場面を撮影してきたものです。

IB教育というと、「思考力」や「表現力」といった応用部分に目が向きがちですが、前提として私たちは **「知識」をないがしろにするものではありません。**

探究学習において、知識は建物を建てるための「レンガ」、美味しい料理を作るための「レシピ」です。

例えば、地域の課題を解決しようとする際、前提となる知識がなければ、その解決策の質は上がりません。「美味しい料理を作りたい！」と願うシェフ（探究心のある生徒）がいても、

**冷蔵庫（頭の中）が空っぽであったり（知識）、食材の扱い方を知らなければ（技能）、最高のフルコース（質の高い解決策）は作れません。**

まずは良質な素材を集め、その扱い方を知ることが不可欠です。

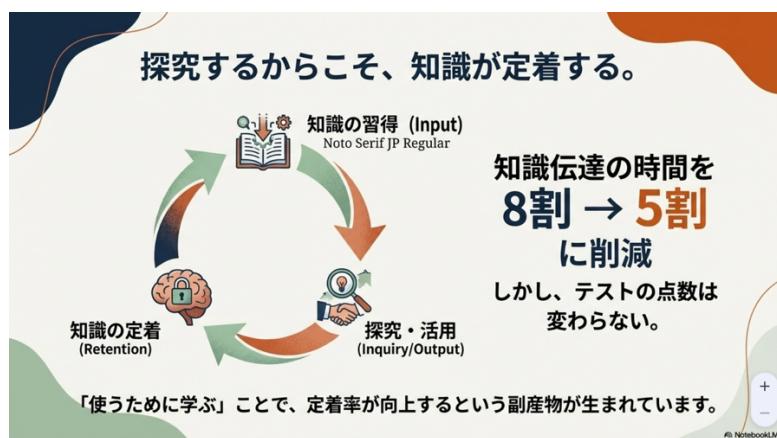
そのため、授業においても前提知識を導入し、定着度を測るところまでは各教科授業で従来通り行っています。 **もちろん時間には限りがありますので、各教科担が効果の最大化・効率化の工夫を続けています。**



加えて**「探究」か「知識」かという二項対立ではなく、探究的に学ぶからこそ知識の定着率が向上している。**という副産物の存

在も実感しているところです。というより、今まで知識に掛けていた8割強の時間を5割に減らしても、学力テストの点数にあまり差異が見られない事実に

「え、今まで眠たそうな顔にも負けず、50分間語り続けていた俺たちの努力ってなんだったんだろう・・・」そんな風に落ち込む（？）先生も私を含めチラホラ…



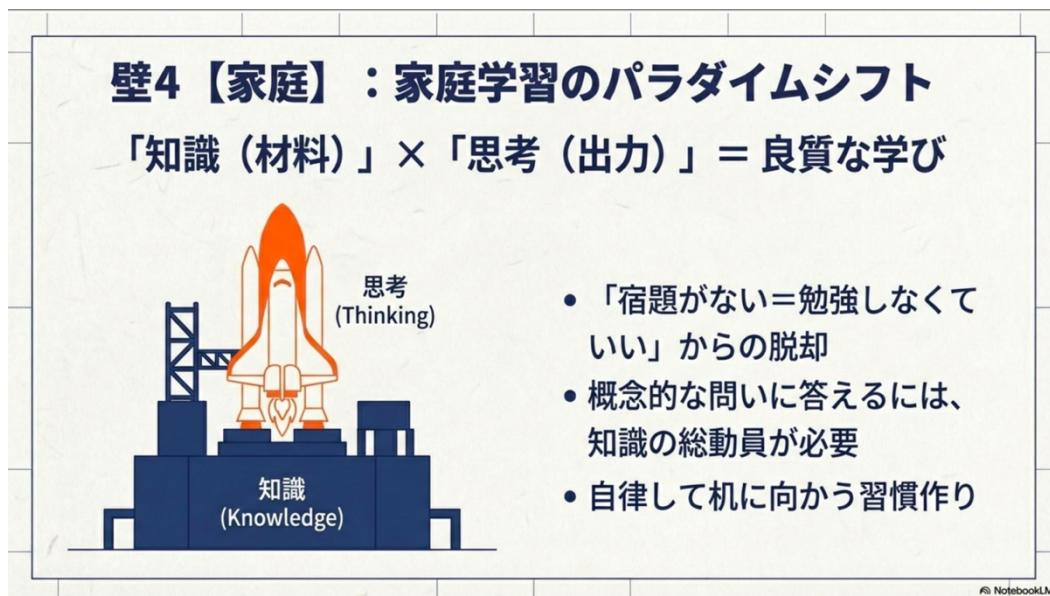
ここで生徒、保護者の皆さん（時々先生方w）に声を大にしてお伝えしておきたいのが、

**「IBだから家庭学習はしなくて良い」は大きな勘違いだ**

ということです！

本校は定期テストを廃止し、「総括的評価課題（いわゆる単元テスト）」による評価へと移行しています。**基礎的な知識・技能の定着を図るテストは消えたわけではなく、写真の通り、単元テストという形で年間に広く馴らされて実施されているのです。**

これまでの「定期テスト前だけ頑張る一夜漬けのスタイル」は、単元ごとに本質的な理解を測る IB の評価には通用しません。つまり、**毎日机に向かい、コツコツとレンガ（知識）を積み上げる**ような学習スタイル、すなわち**「習慣化」**がこれまで以上に重要になっている（成績に直結する）のです。



## 健康第一

同様に、IB スタイルの授業で不可欠なのが**「生活習慣の確立」**です。**IB の学びは、他者との「協働」や「対話」が中心となります。**IB が定める「ATL スキル（社会性・コミュニケーション）」や「学習者像（バランスのとれた人、思いやりのある人など）」を目指すには、相手を尊重し、建設的に議論できる**心の余**

裕が欠かせません。いつも寝不足でイライラした状態では、良好なコミュニケーションは取れません。



自分を律する「自己管理スキル（Self-management）」の第一歩は、睡眠を含めた生活習慣を整え、心身を最高の状態に保つことにあります。

このように、家庭での「コツコツとした学習」と「整った生活リズム」。これらは一見地味ですが、子どもたちがAI時代という「正解のない荒野」を自力で進むための土台、エネルギー源となります。そこは**今も昔も変わりません**。自信を持ってお子様にご指導ご鞭撻を頂ければと思います。

学校側としても、特に子どもたちの「机に向かう習慣」については何かしら習慣化をアシストするような働きかけができるのか、方策を思案していきたいと考えています。

学校と家庭が車の両輪となり、子どもたちの「一生モノの土台」を共に育んでいければ幸いです。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

まとめ↓



バックナンバー2024	概要
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO.1</u></a> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO.2</u></a>	年度当初に行った生徒向けのIBオリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO.3</u></a>	こちらは保護者向けのIBオリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）をIB視点で解説しています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO.4</u></a>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO.5</u></a>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IBで知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO.6</u></a>	IB教育の大きな柱であるATLスキルと10の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。

<u>鹿中IB通信NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,10</u>	「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,11</u>	「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,12</u>	「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,13</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》
<u>鹿中IB通信NO,14</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》

<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,15</u></a>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,16</u></a>	2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,17</u></a>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,18</u></a>	2学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,19</u></a>	2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,20</u></a>	「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,21</u></a>	「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,22</u></a>	IBに関するPTA保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,23</u></a>	コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。

<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,24</u></a>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
------------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	<b>概要</b>
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,25</u></a>	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,26</u></a>	2025年度のIB概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,27</u></a>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」と「コミュニティプロジェクト」について書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,28</u></a>	「体育祭」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,29</u></a>	2025年度Unit1の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,30</u></a>	「目指す生徒像」について書いています。
<a href="#"><u>鹿中IB通信NO,31</u></a>	「瓜幕中学校の視察」について書いています。

<u>鹿中IB通信NO,32</u>	IBの保護者向けワークショップのご案内について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,33</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。
<u>鹿中IB通信NO,34</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェスト第二弾です。
<u>鹿中IB通信NO,35</u>	授業の中で探究のサイクルを実践していくことのメリットの一つについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,36</u>	鹿追町立図書館でのIBの取組と探究の町として発展していくためのキーポイントについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,37</u>	探究の町として発展していくためのキーポイントとして都留文科大学との交流について。そしてIB教育実習生の視点から見た本校の様子について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,38</u>	本校生徒のクラウドファンディングへの挑戦について、また多方面に渡る生徒の活躍ぶりについて紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,39</u>	コミュニティプロジェクト(CP)報告会のご案内と、各グループのプロジェクトタイトルについて紹介しています。

<u>鹿中IB通信NO,40</u>	全体懇談会の中身と、1－2学年の保護者の皆様にご覧いただいたIBの学びを経た生徒の姿について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,41</u>	本校の正式なIB認定のご報告と、IB導入が決まつてから3年間の歩みについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,42</u>	文科省で記者会見をしてきたことについて書いています。